Orchestrating a brighter world

# Starter Pack、ファームウェアのバージョンの確認と適用方法 (Express5800/R120h-1M/2M/1E/2E, T120h, R110j-1)

Express5800/R120h-1M/2M/1E/2E, T120h, R110j-1(以下「サーバ」)に適用、収録される Starter Pack、ファームウェアは、 ご注文時の最新バージョンで出荷されます。また、サーバの更なる安定稼働のため、更新版がリリースされることがあります。

ご使用の OS により、使用できる Starter Pack、ファームウェアのバージョンが異なるため、「OS と Starter Pack の対応表」を 確認の上、ご使用の OS に合った最新の Starter Pack、ファームウェアのバージョンをご使用ください。

# はじめに

本書では、使用する Starter Pack の確認方法、ご購入時または使用中のサーバに適用されている Starter Pack、ファームウ ェアのバージョンの確認方法を説明します。また、Starter Pack のアップデート、ダウングレードについて説明します。

- 1. <u>使用する Starter Pack のバージョン確認方法</u>
- 2. <u>サーバに適用されている Starter Pack バージョンの確認方法</u>
- 3. <u>Starter Pack の入手方法</u>
- 4. Starter Pack のアップデートについて
- 5. Starter Pack のダウングレードについて

本書と合わせて、以下の説明書の最新版、手順、ヘルプを合わせてご確認ください。

本書の「OS と Starter Pack の対応表」の記載例は、安定動作および新機種追加のため、新バージョンが公開、追加されている場合がありますので、最新版をご確認ください。

・NEC サポートポータルの各モデルの製品マニュアルのページに掲載している以下の説明書

- OSとStarter Pack の対応表
- iLO5 ユーザーズガイド
- ファームウェアダウングレード手順書(RedHat Enterprise Linux 7.3 編)(該当モデルのみ掲載)
- ファームウェアダウングレード手順書(R110j-1, RedHat Enterprise Linux 7.5 編)(該当モデルのみ掲載)

・Starter Pack のダウンロード画面に表示される「EXPRESSBUILDER の更新」「アップデート手順」

・ESMPRO/ServerManager のオンラインヘルプ

# 1. 使用する Starter Pack のバージョン確認方法

ご使用のモデルに対応する「OSとStarter Packの対応」を確認して、使用する OS に対応した最新の Starter Pack バージョ ンを確認します。

#### 例:モデル名末尾に(3rd-Gen)が付いている製品

「OSとStarter Packの対応」の「OSとStarter Pack対応表」の記載例:

		Starter Pack バージョン
対応 OS		S8.10-006.06 (2019/12/26 公開)
Windows Server	2012R2	√
	2016	√
	2019	√
VMware ESXi	6.5 update 2	√
	6.5 update 3	√
	6.7 update 2	√
	6.7 update 3	√

上記例では、最新の Starter Pack バージョンは、対応 OS すべて S8.10-006-06 になります。

### 例:モデル名末尾に(2nd-Gen)が付いている製品

「OSとStarter Packの対応」の「OSとStarter Pack対応表」の記載例:

			Starter Pack パージョン	,
対応 OS		S8.10-006.02 (2019/05/27 公開)	S8.10-006.03/04 (2019/09/06 公開)	S8.10-006.05/06 (2019/12/26 公開)
Windows Server	2012R2	✓	✓	✓
	2016	√	✓	✓
	2019	√	✓	√
Red Hat Enterprise Linux	7.6	1	✓	✓
	7.7			✓
	8.0 <b>(※3)</b>			√
VMware ESXi	6.5 update 2	√	✓	✓
	6.5 update 3		✓	√
	6.7 update 2	√	√	√
	6.7 update 3		4	√

上記例では、最新の Starter Pack バージョンは、対応 OS すべて S8.10-006-06 になります。

### 例:モデル名末尾に(2nd-Gen、3rd-Gen)が付いていない製品

		Starter Pack バージョン						
サーバ	-	S8.10-001.xx (2017/08/06 公開)	S8.10-002.xx (2017/12/27 公開)	S8.10-003.xx (2018/03/14 公開)	S8.10-004.xx (2019/02/18 公開)	S8.10-006.01/02 (2019/05/27 公開)	S8.10-006.03/04 (2019/09/06 公開)	S8.10-006.05/06 (2019/12/26 公開)
R120h- 1M/2M	N8100- 2557Y/2561Y/2562Y /2563Y/2564Y/2565Y	✓	~	~	1	1	✓	~
R120h- 1E/2E	N8100- 2602Y/2603Y/2604Y /2606Y		√	~	1	1	✓	√
T120h	N8100-2640Y/2641Y		√	√	√	√	✓	✓

#### 「OSとStarter Packの対応」の「OSとStarter Pack対応表」の記載例:



上記例では、緑枠の Starter Pack バージョンが各 OS の最新バージョンになります。

1) R120h-1M で Windows Server 2019 を使用する場合、S8.10-006-06 が最新の Starter Pack になります。

2) R120h-2E で Red Hat Enterprise Linux7.3 を使用する場合、S8.10-003-xx が最新の Starter Pack になります。

## 2. サーバに適用されている Starter Pack バージョンの確認方法

### 購入時に適用されている Starter Pack バージョンの確認

サーバをご購入後、Starter Pack の適用やファームウェアの変更を行っていない場合、以下の方法により、 EXPRESSBUILDERのバージョンおよびiLO5のファームウェアバージョンを確認することで、サーバに適用されているStarter Packのバージョンを確認することができます。

### EXPRESSBUILDER、iLO5 ファームウェアのバージョンの確認方法

EXPRESSBUILDER、iLO5のファームウェアバージョンを以下のいずれかの方法で確認します。

- サーバのローカルコンソールで確認する方法
  - 1. サーバの電源が ON の場合は、シャットダウンして電源を OFF にします。
  - 2. サーバにディスプレイとキーボードを接続します。
  - 3. サーバの電源を ON にします。 POST 画面が表示されますので、キーボードの<F9>キーを押します。
  - 4. システムユーティリティ画面が表示されますので、キーボードを操作し「System Information → System Information → Firmware Information」を選択します。
  - 5. システムユーティリティ画面にファームウェアバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです。
    - 画面の「EXPRESSBUILDER」 → EXPRESSBUILDER のファームウェアバージョン
    - 画面の「BMC Firmware Version」→ iLO5のファームウェアバージョン
  - <ESC>キーまたはシステムユーティリティ画面の「Exit」を選択し、システムユーティリティを終了します。
     注)システムユーティリティの操作方法は、メンテナンスガイドの「便利な機能」、「システムユーティリティ」を参照します。

#### ● iLO Web インターフェースを利用して、リモートから確認する方法

- 1. iLO5 の管理用ネットワークに接続できる PC 端末を準備します。
- 2. PC 端末の Web ブラウザーを起動し、iLO Web インターフェースに接続し、ログインします。
- 3. 左メニューの「ファームウェア & OS ソフトウェア」を選択し、「ファームウェア」を選択します。
- iLO Web インターフェース画面にファームウェアバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです。
  - 画面の「EXPRESSBUILDER」→ EXPRESSBUILDER のファームウェアバージョン
  - 画面の「iLO5 Firmware」→ iLO5 のファームウェアバージョン
- 5. Web ブラウザーを終了し、iLO Web インターフェース画面を閉じます。
   注) iLO Web インターフェースの操作方法は、iLO5 ユーザーズガイドをご参照ください。

### Starter Pack のバージョンの確認

EXPRESSBUILDE のファームウェアバージョンとiLO5 のファームウェアバージョンから、「OS と Starter Pack の対応」の「サ ーバに適用されている Starter Pack バージョンの確認方法」に記載されている Starter Pack のバージョンを確認します。

#### 例:モデル名末尾に(3rd-Gen)が付いている製品

「サーバに適用されている Starter Pack バージョンの確認方法」の記載例:

EXPRESSBUILDER の ファームウェアバージョン	iLO5 のファームウェア パージョン	対応する Starter Pack のパージョン
3.31.63 (E8.10-006.02)	1.47	S8.10-006.06

#### 例:モデル名末尾に(2nd-Gen)が付いている製品

「サーバに適用されている Starter Pack バージョンの確認方法」の記載例:

EXPRESSBUILDER の ファームウェアバージョン	iLO5 のファームウェア バージョン	対応する Starter Pack のパージョン
3.30.213 (E8.10-006.01)	1.40	S8.10-006.02
3.30.213 (E8.10-006.01) 3.31.63 (E8.10-006.02)	1.43	S8.10-006.03/04
3.31.63 (E8.10-006.02)	1.45 1.47	S8.10-006.05/06

#### 例:モデル名末尾に(2nd-Gen、3rd-Gen)が付いていない製品

「サーバに適用されている Starter Pack バージョンの確認方法」の記載例:

EXPRESSBUILDER の ファームウェアパージョン	iLO5 のファームウェア パージョン	対応する Starter Pack のパージョン			
	1.00	S8.10-001.xx (R120h-1M/2M)			
	1.10	S8.10-001.xx (R120h-1M/2M)			
- (任意のバージョン) -	1.15	S8.10.002-xx (R120h-1E/2E, T120h)			
	1.20				
	1.30	<b>S8 10 002 vv</b>			
3 10 222 (E8 10-003 01) -	1.35	56.10-003.XX			
3.10.222 (E8.10-003.01) -	1.38	-			
2 20 454 (58 40 004 04)	1.35	<b>S8 10 004 yr</b>			
3.20.154 (E8.10-004.01)	1.38	58.10-004.xx			
3.30.213 (E8.10-006.01)	1.40	S8.10-006.01/02			
3.30.213 (E8.10-006.01)	1 / 2	S8 10 006 03/04			
3.31.63 (E8.10-006.02)	1.45	38:10-008:03/04			
3.31.63 (E8.10-006.02)	1.45	S8 10-006 05/06			
	1.47	30.10-000.00/00			

## 使用しているサーバの Starter Pack バージョンの確認

ご使用のサーバに適用されている Starter Pack バージョンは、ESMPRO/ServerManager(Ver6.47 以降)と iLO Web インター フェースで確認することができます。ESMPRO/ServerManager Ver6.47 では、一部の FW/SW のみの表示であるため、詳細 確認は iLO Web インターフェースで行ってください。

#### • ESMPRO/ServerManager Ver6.47 以降を利用して確認する方法

「構成」-「FW/SW バージョン」の表示機能を利用してサーバに適用されている Starter Pack バージョン、またはコンポーネント(以後 FW/SW と記載)のバージョンを確認します。

注) ESMPRO/ServerManager の操作方法は、ESMPRO/ServerManager のオンラインヘルプをご参照ください。

 初めて ESMPRO/ServerManager の FW/SW バージョンの表示機能を使用する場合、 <u>Starter Pack とファームウェアについて(Express5800/R120h-1M/2M/1E/2E, T120h, R110j-1)</u> から定義ファイルをダウンロードして ESMPRO/ServerManager に取り込んでください。

ESMPROA	ユーザ名:solmin [相隔:アドミニストレータ] ログアウト
Hannager Vis. O	EspEther   アラートビューア   ツール   環境設定   ESMPRO/ServerManaperについて   ヘルブ
711-7 💙	クール [RADシステム管理モード・アドパンストモード]
a o Misee	FM 体紛発帯ファイルー製 全鉄済みコンボーネントの検索 Expressilutions 管理情報 AL 保存ファイルー製 Fm / Sm パージョン
	Starter Pack一覧に戻る Starter Pack定義ファイル 30 ビアップローれてください。 対すのURLより、数句の定義ファイルが入手出先ます。 http://www.support.ee.co.is/View.apux?id=3140107222 ファイル 選択
	Starter Pack定義ファイル(zip)をここしドラッグ&ドロップしてください。 もしくはファイル選択より追加するファイルを選択してください。

2. 「構成ページ」-「FW/SW バージョン」を表示する。

ESMPRO6				ユーワ名:admin [4	「後:アドミニストレータ」 <u>ログアウト</u>
Manago For			EspEther   75-164-7	ウール   環境設定   ESMF	R0/ServerManaperについて! ヘルオ
711-7 💙	nost > 120h-2M > 120h-2M > FW/SWI Y-5/	*2		I RAIDS/	ステム管理モード:アドバンストモード。
A Class	構成 設定	リモート制御	スケジュール		
a 🔒 💟 120-5M	🚰 サーバ状態/構成情報				
	□ <u>サーバ状態</u>	Starter Pack定義ファー	イルのバージョン:1.00(リリース目:20	19/12/12)	更新状態:更新可能
	→③	パージョン情報の更新	日時: 2019/10/21 06:33:29		更新
	FW/Smith Ja 2			Starter Pack: Default	~
	田 🧐 印 ハードウェア 田 🔮 副 システム環境 田 🧐 調 ネットワーク	マリョンパーション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・	・ 800/R120h-2M 059万一ジ FW/SW名	ちンド Microsoft Windows Sen FW/SWパージョン	er 2016 Datacenter Starter Packに対応する
	⊞ — 🐻 B10S	@ 121 B AL	System BOM	U30 v210 [05/21/2019)	
	🗉 🍼 🚂 XFU9	③対象外	L05	1.45 Jun 27 2019	-
		③対象外	LO 日本語バック	1.43	-
		③対象外	Innovation Engine(E) Firmware	02.1.2	-
		③対象外	Server Platform Services (SPS) P#	4.1.4.296	
		③対象外	Power Management Controller Filmware	1.0.4	- (1)
		③対象外	Smart Storage Administrator	-	-
		③対象外	Agentiess Management Service	-	-
		③対象外	EXPRESSBUILDER	3.30.213	-
		🚱 Starter Pack定表)	2ァイルの更新方法		

3. Starter Pack を選択し、更新ボタンを押下してください。サーバに適用されている Starter Pack バージョンと選択した Starter Pack の FW/SW バージョンが表示されます。

ESMPRO6				ユーザ名:admin [#	御歌:アドミニストレータ1 ログアウト
Manager Her.			EspEther   アラードビューア	ウール   環境設定   E	
ブループ マ	root > 120h-2M > 120h-2M > FW/SW/(2/a)			[ RA	2) 更新を押下
	Witk	リモー Starter Pac パージョン体操の更新 参対象外 1301~3M モデル名: Expression	Starter Pack を選 E時: 2019/10/21 06:33:20	訳する Envire Pack: Default	更新状态: 可能 更新 Pr 2016 Datacenter
	田 🎯 調 ネットワーク	27-92	F=/S#名	FW/SWパージョン	Starter Packlご対応する FW/SWS (1975) /
		③対象外	System ROM	U30 v2.10 (05/21/2019)	-
	E 🔮 🖬 XFV - 9	③対象外	L05	1.45 Jun 27 2019	-
		③対象対	LO 日本語バック	1.43	-
		③対象外	Innovation Engine(E) Firmware	02.1.2	-
		③対象外	Server Platform Services (SPS) FW	4.1.4.296	-
		③対象外	Power Management Controller Firmware	1.0.4	- 🗈
		③対象外	Smart Storage Administrator	-	-
	1	③対象外	Agentiess Management Service	-	-
	1	③対象外	EXPRESSBUILDER	330.213	-
		② Starter Pack定義フ	アイルの更新方法		

4. 選択した Starter Pack で、各 FW/SW のステータス欄に「OK」と表示されるものが選択した Starter Pack に 一致していることを示します。

ESMPRO6					ユーザ名:admin [	楢陽 : アドミニストレータ]	ログアウト
Manager Fix. O				EspEther   アラートビューア	ウール   環境設定   ESA	PRO/ServerManaper(2100)	オーヘルプ
(mar and	root > 120h-2M > 120h	-2M > FW/SW/(1-2/4)	2		[ RAD:	システム管理モード:アドパン	シストモード 1
214-7	48.42	(their	1125-1-1-10	701			
🔔 🎑 root	THAT.	設地	76-14994	X793-W			_
E 🔥 🎑 120-5M	🔛 サーバ状態/構成	情報					
A 12 120-010	二 状態	1	Starter Pack定義ファ・	イルのバージョン:1.00(リリース目:20	19/12/12)	更新状態:	更新可能
	-③ <b>[}</b> ZラーE状	3	パーンには細い更新	E183: 0010/10/01 06:99:90			更新
	☐ 死活監視:	111		Deli tem letti oratta			
	FW/Ser1	ージョン			Starter Pack: Starter	Pack6(2019/08/29 公開)	~
	🛛 😋 🛄 碘成情報						
	a 😋 🖽 // - l	- ウェフ	🔺 チェック対象 120	h-2M			
	в 😏 🏿 9235	Fム環境	モデル名: Expression	00/R1206-2M 05/5-5	Ža∵.: Microsoft Windows Se	rver 2016 Datacenter	
	🗉 🕑 📜 구 👉	ワーク				Starter Packl: 知乏す	5
	🛛 — 🖬 B10S		27-22	PE/SEZ	Persent-9e9	FE/SWバージョン	^
	🗉 🥑 🗊 ストレ		● OK	System ROM	U30 v2.10 (05/21/2019)	210, 214, 2.04, 202, 2.00	
			▲ チェック対象	105	1.45 Jun 27 2019	1.43, 1.40	
			● CK	1.0 日本語バック	1.43	1.40, 1.43	
			● OK	System Programmable Logic Device	0.cÆ	0x2E	
			● ok	Innovation Engine(IE) Firmware	02.12	0.2.1.2, 0.2.0.11	
			• ск	Server Platform Services (SPS) FW	4.1.4.296	4.1.4.296, 4.1.4.251	
			●ск	Pover Management Controller Firmware	10.4	1.0.4, 1.0.7 🗵	
			♡ 月散外	Smart Storage Administrator	-	3.40.3.0	
			③対象対	Agentiess Management Service	-	1.43.0.0	~
	1		Or	EXPRESSBUILDER	330.213	3.30.213	
			以下のURLからアック https://www.support	ナデートモジュールをダウンロードできま tneo.co.ip./View.aspx?id=9010108831	<b>đ</b> ,		
			② Starter Pack定款2	アイルの更新方法			

5. 選択した Starter Pack でチェック対象が多く表示される場合、Starter Pack を選びなおし、再度更新ボタンを押下 してください。各 FW/SW のステータス欄が「OK」と一番多く表示されるものが、サーバに適用されている Starter Pack バージョンとなります。

ESMPROA						ユーザ名:admin [	楠陽:アドミニストレータ】 🔳	グアウト	
Manager Per. O					ExpEther   75++Ka+7	ウール   環境設定   ESM	PRO/ServerManaper1210U17	レヘルプ	
		root > 120h-2M > 120h	-241 > FW/SW/11-22m2	,		[ RADS	ステム管理モード : アドバンス	トモード	
716-7	~	-	and and a	(					
🚖 🛄 rest		19175	設モ	76-1400	スケジュール				
a 🛦 💭 120-5M		🛄 サーバ 状態/構成	情報						
A 10 120-00		├── 旦 サーバ状態	8	Starter Pack定義ファイ	ルのバージョン: 1.00 (リリース目: 20	019/12/12)	更新犹然:更新	阿能	
			5	パージョン情報の更新E	3時: 2019/10/21 06:33:29		9	医肝	
			1.118			Sharbar Park: Starter	Sherber Parks: StanlarPark4(2019)02/18 (3)		
		FW/SW/1	= 1 W/Sev =						
		🗆 🌝 📃 績磁情報		A at a chatter a success					
		🖽 🌝 🖽 ハート	■ ⑦ Ⅲ ハードウェア → ナエック対象 120h-30M						
		E 🌝 🍠 923	テム環境	モデル名: Express580	0/R120h-2M 05/1-5	2a:)4 Microsoft Windows Ser	ver 2016 Datacenter		
		E 🍼 👧 +6 VP	-9-9	ステータス	Fe/Set	FE/SEパージョン	Starter Packに対応する FW/SWパーンない	~	
		m 🔿 🖨 760		🍐 チェック 対象	System ROM	U30 v2.10 (05/21/2019)	1.46		
		a 😏 🖬 Artz	~	🔺 チェック対象	1.05	1.45 Jun 27 2019	1.38, 1.35		
				🔺 チェック対1	1.0 日本語バック	1.43	1.30		
				🍐 チェック対 🤱	System Programmable Logic Device	0x2E	0:24		
				🍐 チェックシ 象	Innovation Engine(IE) Firmware	02.12	0.1.6.1, 0.2.0.11, 0.152		
				▲ エーノン対象	Server Platform Services (SPS) FW	4.1.4.296	404.288, 4.1.4.251, 4.0.4393		
				ОК	Pover Management Controller Finnware	10.4	1.0.4		
				③対象外	Smart Storage Administrator	-	330.14.0		
				③対象外	Agentiess Management Service	-	1.30.0.0	~	
				🔔 チャックは象	EXPRESSBUILDER	330213	3.20.154		
				以下のURLからアップ https://www.support/	デートモジュールをダウンロードできま rec.co.ip./View.aspv?id=9010108080	ब.			
				② Starter Pack定表27	-イルの更新方法				

6. 個別のコンポーネントのみを更新されている場合、すべての FW/SW のステータスが「OK」とならず、一部「チェッ ク対象」と表示されることがあります。

この場合、NEC サポートポータルの <u>Starter Pack とファームウェアについて(Express5800/R120h-1M/2M/1E/2E, T120h, R110j-1)</u> の ESMPRO/ServerManager の定義ファイルまたは、チェック対象と表示される FW/SW の最新版をご確認ください。

ESMPR06				ユーザ名:admin [i	植味:アドミニストレータ ] 🚺	コグアウト
Manager Fix. O			ExpEther   75++ビューア	ウール   環境設定   ESM#	PRO/ServerManapar(210,17)	コールナ
(a) a	$\operatorname{root} \geq 120h{-}2M \geq 120h{-}2M \geq FW/SW/\tilde{h}{-}(2\eta)$	/		[ RAIDS	ステム管理モード:アドバンス	ストモード 1
914-9 V	48.42 (M-1-	ILES-LARR V	7021			
🛕 📖 root.	80.4C.	76-14144	X173-W			
😑 🛕 🎇 1908-900	🛄 サーバ 状態/構成情報					
L 🔒 📑 1283-198	→ <u>□</u> <u>サーバ状態</u>	Starter Pack定義ファイ)	ルのパージョン:1.00(リリース日:20	19/12/12)	更新犹睦:更	斩可能
	->>  ()  ()  ()  ()  ()  ()  ()  ()  ()  ()	パージョン情報の更新日	163: 2019/10/21 06:33:29			更新
	FW/Smi =2a2			Starter Pack1 StarterP	'ack6(2019/08/29 公開)	~
	🛛 🌝 📃 構成情報					
	⊞ 🥑 🖽 ハードウェア	🔺 チェック対象 120h-	-2M			
	🗉 🌝 🄊 システム環境	モデル名: Express580	0/R120h-2M 08/1-9	2a12: Microsoft Windows Ser	ver 2016 Datacenter	
	田 🥑 調 ネッオワーク	ステータス	FE/SEZ	FE/SEパージョン	Starter Packに対応する FW/SWA ージョン	~
			System ROM	U30 v2.10 (05/21/2019)	210, 214, 2.04, 202, 2.00	
		🔺 チェック対象	LOD	1.45 Jun 27 2019	1.43, 1.40	
		-	この日本語バック	1.43	1.40, 1.43	
		● cĸ	System Programmable Logic Device	0::2E	0x2E	
		● cĸ	Innovation Engine(IE) Firmware	02.12	0.212,02.0.11	
		● ск	Server Platform Services (SPS) FW	4.1.4.296	414.296, 4.1.4.251	
		Ок	Power Management Controller Firmware	10.4	1.0.4, 1.0.7 💷	
		③対象外	Smort Storage Administrator	-	3.40.3.0	
		③対象外	Agentiess Management Service	-	1.43.0.0	~
		ex	EXPRESSBUILDER	330213	330.213	
		以下のURLからアップ	デートモジュールをダウンロードできま ************************************	<b>す</b> .		
		(10000000000000000000000000000000000000	800.000.007 / KNY 201001 NO 007101000201			
		② Starter Pack定義ファ	イルの更新方法			

#### ● iLO Web インターフェースを利用して、リモートから確認する方法

- 1. iLO5の管理用ネットワークに接続できる PC 端末を準備します。
- 2. PC 端末の Web ブラウザーを起動し、iLO Web インターフェースに接続し、ログインします。
- 3. 左メニューの「ファームウェア & OS ソフトウェア」を選択し、「ファームウェア」を選択します。

NEC iL0 5 ×	ファー インス ● ◎ ⊕ ▲ ⊕ 岛 ?	
情報 システム構築 ファームウエア & OSソフトウェア にの振性 リモートコンソール & メディア 電力 & 温度 Intelligent System Tuning ILO専用ネットワークポート ILO共有ネットワークポート	ファームウェア JUDレポジトリ インストールゼット インストールギュー ファームウェア名 LLO5 ファームウェアバージョン 1.45 Jun 27 2019 位置 System Board	<ul> <li>         び ファームウェアのアップデート         <ul> <li></li></ul></li></ul>
管理 セキュリティ マネジメント EXPRESSBUILDER	ファームウェア名 System ROM ファームウェアバージョン U30 v2 10 (05/21/2019) 位置 System Board ファームウェア名 Intelligent Platform Abstraction Data	

4. 「OS と Starter Pack の対応表」の「Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧」と iLO Web インターフェース 画面に表示される FW/SW のバージョンを確認します。FW/SW(コンポーネント)のバージョンが一致する項目が一 番多い Starter Pack がサーバに適用されている Starter Pack バージョンになります。

#### 例:モデル名末尾に(3rd-Gen)が付いている製品

「OSとStarter Pack対応表」の「Starter Packとコンポーネントのバージョン一覧」の記載例:

	Starter Pack パージョン
対応するコンポーネント	\$8.10-006.06 (2019/12/26 公開)
⊚System ROM (BIOS)	©2.16 (2.10)
©iLO5 (BMC) FW	©1.47 (1.45)
◎iLO5 日本語パック	©1.43
OInnovation Engine (IE) FW	©0.2.1.2
Server Platform Services (SPS) FW	©04.01.04.296
EXPRESSBUILDER	E8.10-006.02 FW Ver: 3.31.63
OPower Management Controller Firmware	1.0.7 ©1.0.4
◎RAID 通報サービス (Windows 用)	©3682
◎Agentless Management Service (Windows 用)	©1.44.0.0
Agentless Management Service (VMware 用)	yyy.11.4.5
◎iLO Channel Interface Driver (Windows 用)	©4.5.0.0
iLO Channel Interface Driver (VMware 用)	650.10.3.0 670.10.1.0
WBEM Provider (VMware 用)	650.03.15.00.4 670.03.15.00.3
◎Smart Storage Administrator (Windows 用)	©3.47.6.0
Smart Storage Administrator (VMware 用)	3.47.6.0
ESMPRO/ServerManager (監視サーバー用)	6.42
◎ESMPRO/ServerAgentService (Windows 用)	©2.16

◎二重丸:

(括弧で囲まれたバージョン):

Starter Pack に同梱されるコンポーネント。無印は、Web サイト上に掲載。

旧バージョン。括弧の付いていない最新バージョンを適用することを推奨します。

VMware 向けコンポーネントの yyy: ESXi のパージョン (例: 6.7 → 670, 6.5 → 650)

System ROM(BIOS)、iLO5(BMC) FW はダウングレード対象外のため、複数のバージョンが同一 Starter Pack 内に存在します。

### 例:モデル名末尾に(2nd-Gen)が付いている製品

		Starter Pac	* バージョン	
対応するコンポーネント	S8.10-006.02 (2019/05/27 公開)	S8.10- 006.03/04 (2019/09/06 公開)	S8.10-006.05 (2019/11/11 公開)	S8.10-006.06 (2019/12/26 公期)
©System ROM (BIOS)	©2.04	©2.10	©2.10	©2.16 (2.10)
©iLO5 (BMC) FW	1.45 1.43 ©1.40	1.45 ©1.43	©1.45	©1.47 (1.45)
◎iLO5 日本語パック	©1.40	©1.40	©1.43	©1.43
OInnovation Engine (IE) FW	©0.2.0.11	©0.2.1.2	©0.2.1.2	©0.2.1.2
OServer Platform Services (SPS) FW	©04.01.04.251	©04.01.04.296	©04.01.04.296	©04.01.04.296
EXPRESSBUILDER	E8.10-006.01 FW Ver: 3.30.213	E8.10-006.01 FW Ver: 3.30.213	E8.10-006.02 FW Ver: 3.31.63	E8.10-006.02 FW Ver: 3.31.63
©Power Management Controller Firmware	©1.0.4	©1.0.4	1.0.7 ©1.0.4	1.0.7 ©1.0.4
◎RAID 通報サービス (Windows 用)	©3654	©3682	©3682	©3682
©RAID 通報サービス (RHEL 用)	©3652	©3682	©3682	©3682
@Agentless Management Service (Windows 用)	©1.40.0.0	©1.43.0.0	©1.44.0.0	©1.44.0.0
@Agentless Management Service (RHEL 用)	©1.4.0	©1.4.0	©1.4.2	©1.4.2
Agentless Management Service (VMware 用)	yyy.11.4.0	yyy.11.4.0	ууу.11.4.5	yyy.11.4.5
◎iLO Channel Interface Driver (Windows 用)	©4.3.0.0	©4.3.0.0	©4.5.0.0	©4.5.0.0
iLO Channel Interface Driver (RHEL 用)		サポートする Lin	ux Kernel に組込	
iLO Channel Interface Driver (VMware 用)	600.10.1.0 650.10.3.0 670.10.1.0	650.10.3.0 670.10.1.0	650.10.3.0 670.10.1.0	650.10.3.0 670.10.1.0
WBEM Provider (VMware 用)	600.03.15.00.2 650.03.15.00.4 670.03.15.00.3	650.03.15.00.4 670.03.15.00.3	650.03.15.00.4 670.03.15.00.3	650.03.15.00.4 670.03.15.00.3
◎Smart Storage Administrator (Windows, RHEL 用)	©3.40.3.0	©3.40.3.0	©3.47.6.0	©3.47.6.0
Smart Storage Administrator (VMware 用)	3.40.3.0	3.40.3.0	3.47.6.0	3.47.6.0
ESMPRO/ServerManager (監視サーバー用)	6.42	6.42	6.42	6.42
@ESMPRO/ServerAgentService (Windows 用)	0044	00.40	00.00	00.40
<u> </u>	©2.14	©2.16	©2.16	©2.16

「OSとStarter Pack 対応表」の「Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧」の記載例:

◎二重丸:

Starter Pack に同梱されるコンポーネント。無印は、Web サイト上に掲載。

(括弧で囲まれたパージョン): 旧パージョン。括弧の付いていない最新パージョンを適用することを推奨します。

VMware 向けコンポーネントの yyy: ESXi のバージョン (例: 6.7 → 670, 6.5 → 650)

System ROM(BIOS)、iLO5(BMC) FW はダウングレード対象外のため、複数のバージョンが同一 Starter Pack 内に存在します。

### 例:モデル名末尾に(2nd-Gen、3rd-Gen)が付いていない製品

「OSとStarter Pack対応表」の「Starter Packとコンポーネントのバージョン一覧」の記載例:

				Starter Pac	k バージョン			
対応するコンポーネン ト	S8.10- 001.xx (2017/08/06 公開)	S8.10- 002.xx (2017/12/27 公開)	S8.10- 003.xx (2018/03/14 公開)	S8.10- 004.xx (2019/02/18 公開)	S8.10- 006.01/02 (2019/05/27 公開)	S8.10- 006.03/04 (2019/09/06 公開)	S8.10- 006.05 (2019/11/11 公開)	S8.10- 006.06 (2019/12/26 公開)
©System ROM (BIOS)	2.10 (2.04) ~ ©(1.20) (1.02)	2.10 (2.04) ~ (1.22) ©(1.20)	2.10 (2.04) ~ (1.40) ©(1.36)	2.10 (2.04) (2.02) (2.00) ©(1.46)	©2.10 (2.04) (2.02) (2.00)	©2.10	2.16 ©2.10	©2.16 (2.10)
©iLO5 (BMC) FW	(1.00) ©1.15 (1.10) (1.00)	©1.15	1.38 (1.35) (1.30) ©(1.20)	(1.42) ©1.38 (1.35)	1.45 1.43 ©1.40	1.45 ©1.43	1.47 ©1.45	©1.47 (1.45)
◎iLO5 日本語パック	©1.15 (1.1)	©1.15	1.30 ©(1.20)	©1.30	©1.40	©1.40	©1.43	©1.43
<pre>©Innovation Engine (IE) FW</pre>	0.1.4.4 (0.1.0.28)	0.1.4.4	0.2.0.11 (0.1.6.1) (0.1.5.2)	0.2.0.11 (0.1.6.1)	©0.2.0.11	©0.2.1.2	©0.2.1.2	©0.2.1.2
©Server Platform Services (SPS) FW	04.00.04.288 (04.00.03.219) (04.00.03.211)	04.00.04.288 (04.00.03.219)	04.01.04.251 (04.00.04.288)	04.01.04.251 (04.00.04.393) (04.00.04.288)	©04.01.04.251	©04.01.04.296	©04.01.04.296	©04.01.04.296
EXPRESSBUILDER	E8.10-001.01 FW Ver: 3.02.10	E8.10-001.01 FW Ver: 3.02.10	E8.10-003.01 FW Ver: 3.10.222	E8.10-004.01 FW Ver: 3.20.154	E8.10-006.01 FW Ver: 3.30.213	E8.10-006.01 FW Ver: 3.30.213	E8.10-006.02 FW Ver: 3.31.63	E8.10-006.02 FW Ver: 3.31.63
OPower Management Controller Firmware	©1.0.4 (1.0.2)	©1.0.4	©1.0.4	©1.0.4	©1.0.4	©1.0.4	1.0.7 ©1.0.4	1.0.7 ©1.0.4
◎RAID 通報サービス (Windows 用)	3682 (3654) (©3537) (3497) (3485) (3459)	3682 (3654) (©3537) (3497) (3485)	3682 (3654) (©3537)	3682 (3654) (©3537)	©3654	©3682	©3682	©3682
©RAID 通報サービス (RHEL 用)	3682 (3655: RHEL6, 3652: RHEL7) (©3532) (3485)	3682 (3655: RHEL6, 3652: RHEL7) (3532) (@3485)	3682 (©3655: RHEL6, ©3652: RHEL7) (©3532)	3682 (©3655: RHEL6, ©3652: RHEL7)	©3652	©3682	©3682	©3682
<ul> <li>◎Agentless</li> <li>Management Service</li> <li>(Windows 用)</li> </ul>	©1.15.0.0 (1.10.0.0)	©1.15.0.0	©1.20.0.0	©1.30.0.0	©1.40.0.0	©1.43.0.0	©1.44.0.0	©1.44.0.0
©Agentless Management Service (RHEL 用)	©1.1.0 (1.0.0)	©1.1.0	©1.2.0	©1.32 (1.3.1) (1.3.0)	©1.4.0	©1.4.0	©1.4.2	©1.4.2
Agentless Management Service (VMware 用)	yyy.11.1.5	yyy.11.1.5	yyy.11.3.0 (yyy.11.2.0)	yyy.11.3.6 (yyy.11.3.0)	yyy.11.4.0	ууу.11.4.0	yyy.11.4.5	ууу.11.4.5
◎iLO Channel Interface Driver (Windows 用)	©4.0.0.0	©4.0.0.0	©4.1.0.0	©4.3.0.0	©4.3.0.0	©4.3.0.0	©4.5.0.0	©4.5.0.0
iLO Channel Interface Driver (RHEL 用)				サポートする Lin	ux Kernel に組込			
iLO Channel Interface Driver (VMware 用)	ууу.10.1.0	yyy.10.1.0	600.10.1.0 650.10.3.0 670.10.1.0	600.10.1.0 650.10.3.0 670.10.1.0	600.10.1.0 650.10.3.0 670.10.1.0	600.10.1.0 650.10.3.0 670.10.1.0	600.10.1.0 650.10.3.0 670.10.1.0	600.10.1.0 650.10.3.0 670.10.1.0
WBEM Provider (VMware 用)	ууу.03.12.50.2	yyy.03.12.50.2	yyy.03.14.00.3 (yyy.03.13.00.6)	yyy.03.14.00.3	600.03.15.00.2 650.03.15.00.4 670.03.15.00.3	600.03.15.00.2 650.03.15.00.4 670.03.15.00.3	600.03.15.00.2 650.03.15.00.4 670.03.15.00.3	600.03.15.00.2 650.03.15.00.4 670.03.15.00.3
<ul> <li>◎Smart Storage</li> <li>Administrator</li> <li>(Windows, RHEL 用)</li> </ul>	©3.10.3.0	©3.10.3.0	3.30.14.0 ©(3.25.4.0)	©3.30.14.0	©3.40.3.0	©3.40.3.0	©3.47.6.0	©3.47.6.0
Smart Storage Administrator (VMware 用)	3.10.3.0	3.10.3.0	3.30.14.0 (3.25.4.0)	3.30.14.0	3.40.3.0	3.40.3.0	3.47.6.0	3.47.6.0
ESMPRO/ServerMan ager (監視サーバ用)	6.42 (6.41) ~	6.42 (6.41) ~	6.42 (6.41) ~	6.42 (6.41) ~	6.42 (6.41)	6.42	6.42	6.42
@F0MPD0/0	(6.20)	(6.23)	(6.25)	(6.31)	@044	80.40	80.40	
⊚ESMPRO/ServerAg entService (Windows 用)	2.16 (2.14) ~	(2.14)	(2.14)	(2.14) (2.12)	©2.14 (2.12)	©2.16	©2.16	©2.16
	©(2.03) (2.00)	©(2.02)	(2.07) ©(2.06)	©(2.1) (2.07)				
©ESMPRO/ServerAg entService (RHEL 用)	2.1.1-0 (2.1.0-0) (2.0.8-0) (2.0.7-0) ©(2.0.4-0)	2.1.1-0 (2.1.0-0) (2.0.8-0) (2.0.7-0) ©(2.0.3-0)	2.1.1-0 (2.1.0-0) (2.0.8-0) ©(2.0.7-0)	2.1.1-0 (2.1.0-0) ©(2.0.8-0)	©2.1.1-0 (2.1.0-0)	©2.1.1-0	©2.1.1-0	©2.1.1-0

◎二重丸: Starter Pack に同梱されるコンポーネント。無印は、Web サイト上に掲載。 (括弧で囲まれたバージョン): 旧バージョン。括弧の付いていない最新バージョンを適用することを推奨します。 VMware 向けコンポーネントの yyy: ESXi のバージョン (例: 6.7 → 670, 6.5 → 650)

System ROM(BIOS)、iLO5(BMC) FW はダウングレード対象外のため、複数のバージョンが同一 Starter Pack 内に存在します。

## 3. Starter Pack の入手方法

サーバに適用されている Starter Pack と異なる Starter Pack バージョンを使用する場合、NEC サポートポータルから使用する Starter Pack をダウンロードします。以下に Starter Pack をダウンロードする手順例を示します。

1. <u>NEC サポートポータル</u>の「サポート情報」-「ハードウェア」をクリックします。



2. 「型番・モデル名から探す」をクリックします。

NEC NECサポート	ボータル	NECサポートポータル内検索	٩	ログイン ユーザID/パスワードを忘れた方は <u>こちら</u>
サポートサービスについて	て お問い合わせ	t +	《一ト情報	ご契約確認・各種お手続き
トップ > サポート・ダウンロード >	・サポート情報 > サポートボータル >	ハードウェア		
サポート情報	ハードウェア			
ハードウェア	製品から探す			
製品から探す	製品名から検索できます。			
型番・モデル名から探す	ログインいただいた場合に	は、契約製品に絞り込むこと	ができます。	
ソフトウェア	型番・モデル名から	探す		
お知らせ	製品の型番またはモデル名	から検索できます。		
よくあるご質問(サポート FAQ)				● ページの先頭へ戻る
修正情報・ダウンロード )	•			

3. 使用になる製品のモデル名を入力し、「モデル名で検索」をクリックします。

サポート情報		型番・モデル名から探す[ハードウェア]	
ハードウェア	>	型番・モデル名から探す	
製品から探す	>		● 製品から探す
型番・モデル名から探す		<sub>ご購入された製品の型番</sub> モデル名を入力	
ソフトウェア	>	その製品に関連するサポート	
お知らせ	>	R120h-2M	×
よくあるご質問(サポート FAQ)	>	入力例) 型番: NP8100-933P4 ● 型番の確認方法 モデル名: 110Gc、110GR-1a ● モデル名の確認方法	
修正情報・ダウンロード	>	型番で検索 モデル名で検索	

4. 使用になる製品のモデル名をクリックします。(例:R120h-2M(2nd-Gen))

サポート情報		型番・モデル名から探す [ ハードウェア ]	
ハードウェア	>	型番・モデル名から探す	
製品から探す	>		● 製品から探す
型番・モデル名から探す		ご購入された製品の型番またはモデル名を入力してください。	
ソフトウェア	>	その製品に関連するサポート情報を表示します。 😨 検索方法	
お知らせ	>	R120h-2M	
よくあるご質問(サポート FAQ)	>	入力例)型番: NP8100-933P4 💿 型番の確認方法 モデル名: 110Gc、110GR-1a 💿 モデル名の確認方法	
修正情報・ダウンロード	>	型番で検索 モデル名で検索	
		型番・モデル名から探す 検索結果 3件中 1件~3件を表示	
		1/1ページ	10件 🗸
		R120h-2M	
		R120h-2M (3rd-Gen)	
		1/1 ページ	

5. キーワードに使用になる Starter Pack バージョンを入力し、「絞り込み検索」をクリックします

サポート情報	製品から探す・検索一覧	[ ハードウェア ]
ハードウェア	R120h-2M (2nd-Gen)	
製品から探す		● 検索ヘルプ
型番・モデル名から探す >	カテゴリで絞り込む	
ソフトウェア >	▶ すべて	▶ よくあるご質問(サポートFAQ)
お知らせ >	▶ お知らせ	▶ 技術情報
よくあるご質問(サポート FAQ)	<ul> <li>製品研要</li> <li>製品研要</li> </ul>	▶ os Starter Pack バージョンを入力
修正情報・ダウンロード >	ト オブション キーワード (すべて含む)	\$8.10-006.05
		較り込み検索

検索結果に表示される Starter Pack を選択し、表示に従って Starter Pack をダウンロードします。
 修正情報・ダウンロード画面で表示される「EXPRESSBUILDER の更新」「アップデート手順」は、Starter Pack に適用時に参照できるようにしてください。

検索結果表示例:				
検索結果:				
				1/1 ページ
表示順	最終更新日を降順で検索	~	表示件数	10件 🗸
■ Express5800シリーズ「Agentles: 用する特定のケースでCPU 使用率が高く ついて	s Management Serv くなり、Syslog にsm	rice (iLO 5) ad のログがオ	for Linux (/ 、量に出力され	AMS)を使 1る」件に
<ul> <li>コンテンツID:3140107311</li> <li>公開</li> <li>カテゴリ:技術情報</li> </ul>	日:2019年12月20日	• 最終更新	听日:2019年1	2月20日
• 製品名カテゴリ:R120h-1M,R120h-2M,R	120h-1E,R120h-2E,T12	0h,R110j-1,R1	20h-1M (2nd	-Gen),R
■ Express5800シリーズ Starter Pa	ck Version <mark>58.10-0</mark>	<mark>06.05</mark>		
<ul> <li>コンテンツID:9010108668</li> <li>カデゴリ・修正情報・グウンロード</li> </ul>	日:2019年11月11日	• 最終更新	听日:2019年1	1月11日

製品名カテゴリ:R120h-1M,R120h-2M,R120h-1E,R120h-2E,T120h,R110j-1,R120h-1M (2nd-Gen),R...

1/1 ページ

# 4. Starter Pack のアップデートについて

ご使用の OS に対応する Starter Pack バージョンとサーバに適用されている Starter Pack バージョンを比べて、新しい Starter Pack バージョンがある場合、Starter Pack の入手方法に従って Starter Pack を入手し、アップデートを行うことを推奨します。 Starter Pack を入手する際のダウンロード画面に表示される「EXPRESSBUILDER の更新」「アップデート手順」に従って Starter Pack のアップデートを行ってください。

既に OS がサーバにインストールされていても、Starter Packのアップデートは、手順に従って行うことができます。

## 5. Starter Pack のダウングレードについて

Red Hat Enterprise Linux(以下、RHEL)をインストールする際に、事前に Starter Pack を用いてファームウェアダウングレード が必要となる場合があります。Starter Pack によるダウングレードは、サーバに OS をインストールする前に</u>必ず行ってくだ さい。ダウングレードが必要となるケースは以下です。(2020 年 1 月 31 日現在)

- R110j-1 に RHEL7.5~7.x をインストールする (※2nd-Gen は対象外)
- R120h-1M/2M/1E/2E,T120h に RHEL7.3~7.x をインストールする (※2nd-Gen、3rd-Gen は対象外)

OS が既にインストールされている場合、OS をクリアして、Starter Pack のダウングレード後に再インストールしてください。 Starter Pack によるダウングレードは、ファームウェアダウングレード手順書の手順に従って、行ってください。

ファームウェアダウングレード手順書は、NEC サポートポータルの該当モデルの製品マニュアルのページに掲載されています。

### 変更履歴

版数	改版日	改版内容
1	2020年1月31日	初版

#### ■ 本件に関するお問い合わせについて

本書の内容に不明点がある場合は、下記ファーストコンタクトセンターまでお問い合わせください。

連絡先	: ファーストコンタクトセンター
TEL	: 0120-5800-72
受付時間	: 9:00~12:00 13:00~17:00
	月曜日~金曜日(除祝日、弊社休日)
※ 番号をお	間違えにならないよう、よくお確かめの上、おかけください。

